



火災保險條例草案

大藏省火災保險取調掛之印

1-23

十一

324



414  
A3617  
12



條例

第一章

總則

第一條

日本國內、家屋一切、建物ヲ總稱スハ其種類  
及ニ用方、如何ニ関セズ總テ火災保險ヲ受ク  
可キ義務有ルモノトス

第二條

保險部外トシテ保險スベカラザル家屋左ノ如

シ

大正十一年四月  
大隈侯爵郵寄贈

大蔵省

- (一) 皇居離宮
- (二) 凡外國人所有、家屋
- (三) 火藥製造所及貯藏所
- (四) 揮發油製造及貯藏所
- (五) 摺附木製造及貯藏所
- (六) 瓦斯製造所
- (七) 鎔鑪及分析所
- (八) 不炭置所
- (九) 花火製造及貯藏所
- (十) 一時使用、供スル家屋及小屋掛

- (十一) 建設自在ナル建物(切組建物ノ類)及運搬自由ナル建物(箱番所ノ類)
  - (十二) 金、石又煉瓦等、不燃物ヲ以テ造管シタル家屋ニシテ内外、構造更ニ
- 火害ノ患ナキモノ
- 但此他營業上殊ニ火災ニ危険ナル家屋ハ其地方ノ見込ヲ以テ中央保險局ノ認可ヲ經或ハ保險ヲ除キ或ハ賦金ヲ増加スルヲ得
- 第三條
- 門、塙、塙及ニ家屋外ニ在ル井戸、井戸小屋ハ其揮

類價格ノ如何ニ拘ハラズ保險セサルモノトス  
但長屋門ニ此限ニアラス

第四條

凡ソ家屋及ヒ永久ニ渉ル小屋掛又ハ借家人其  
他所  
有主外ノ者ニ於テ設営セル増築ニシテ評  
價人ノ價定ニ從ヒ價格拾円ニ充クサルモノ英  
ニ神社佛閣ニ保險ヲ受ルト否ト都テ情願ニ委  
又

第五條

保險局ニ其保險シタル家屋燒燼スル乎若クハ

其一部燒失シタル時ニ於テ損害ノ大小ニ應シ  
保險金ヲ下付スルモノトス但シ消防ノ為メ止  
ムヲ得ス毀壞セラレ若クハ損害ヲ受ケタルモ  
ノハ之ヲ燒失ト同視ス可シ

但燒失部内ノ石、煉瓦又ハ土壁ハ其損害ニ對  
スル保險金ヲ下附スト雖モ燒失部外ニ在テ  
唯火起ニ因テ焦損及崩潰シタルモノハ此限  
ニ及ラス

第六條

保險ヲ受ケタル家屋若シ消防ノ為メ不得止破

壞若シハ損害セラルレタル時ハ其所有主ヨリ補償金ヲ請求スルコトヲ得ベシ  
但共金額ハ地方保険局ニ於テ預誓ハ成ルニシテ  
大小ハ從ヒ之ヲ定ムルモノトス

第七條

總テ内國人ノ所有ニ屬スル家屋ハ如何ノ場合ニ於テモ外國ノ火災保險ヲ受ルヲ得ザルモノトス若シ違背スルモノアリテ發見スルトキハ燒失後ナレハ内國保險局ヨリ與フベキ保險金

勿論外國保險社ニ受クヘキ保險金ヲモ沒收ス可シ  
但右沒收スベキハ外保險金ハ所有主已ニ之ヲ費耗シ現存セザルハ現時若クハ後來ノ所有財産ヨリ追徴スベキモノトス

第八條

局ハ地方保險局ヲ統理シ火災保險トシテ事務ヲ掌ル  
中ニ係ル百ノ宜ノ地ヲ選ミ支高ヲ入ルニ其近傍ノ地方保險局ヲ統理スルモノトス

地方保険局ハ其保險局ノ命ヲ奉シ其管内火災保險ノ事務ヲ行フモ命トス

中 局ハ各年度ノ末ニ於テ歲入出一覽表ヲ編製シ之ヲ公告ス可シ

第二章

評價

第十條

評價ハ地方保險局ニ於テ評價監督人(地方官吏)以テ擔任セシム

評價規則第一條第二

條ニ見ユ若干名ヲ選ビ一切家屋ノ價格ヲ評定ス

第十一條

評價監督人ハ評價人ヲ指揮シ評價ノ當否ヲ監査シ若シ不當ト認ムル片ハ之ヲ改正セシメ又其價格ニ付評價人ノ意見一定セザル片ハ之ヲ判

モトトス

二

局

評價表ヲ製シ評價ノ準據トナスベシ

但評價規則第十一條ノ成規ニ依ルベシ

評一 家、倉、庫、物置等一ノ屋毎ニ評價ス

又 中數多ノ所有ニアリ、其區域ニ離レ

得、キモ、ハ別箇ニ之ヲ評價ニ分離スベカラ

サルモノハ全屋ヲ以テ評價ス可シ

### 第十四條

家屋ノ評價ハ其地ニ定價(評價規則第十三條

(甲) 従テ築材ノ築造諸工ノ價格ヲ算定スル

モノトス

石シ舊屋ニシテ築材既ニ衰替セシモノハ其減價ヲ算定シ且、築造諸工ノ價格モ亦築材減價ノ割合ニ依テ減スモノトス

### 第十五條

保險ノ區域ハ家屋ノ外部ハ土臺、内部ハ床、板

ヲ以テ界トス故ニ凡ソ床下ニ排置スル根太、土臺

等 下ニ設置スル居室ノ床ハ保險區域外

ト ス、要ス

床、土臺、内部、雖ハ之モ、界ト

第十六條

凡ノ家至ノ...

ル...

及ヒ其築造ニ用ヒタル金釘類其他ノ

切、金属(金銀泥)及ヒ箔類モ之ニ準スルハ皆之ヲ

除ク

家至裝飾中普通ノ價位ヲ評定シ難キモノ即チ

書画、錦繡、珠玉彫鏤類ハ之ヲ除ク

第十七條

這作ノ全部或ハ幾少ヲ借家人又ハ其他ノ者ニ

於テ設営増補シ家至所有主ト其所有ヲ殊ニス  
ル...

第十八條

和佛閣ハ情願ニ任カスルカ故ニ自由ニ運搬

スベカフザル神佛具等モ亦保險ヲ受クルト否

ト切情願ニ委ヌルモノトス

九條

車小...

...

...



得ルモ...ニシテ家屋所有主ノ所有ニ属スル  
分クハ...部...計...  
出シ...其他家屋固着シ自由ニ  
ス...得ガルモノニシテ家屋所有主ノ所有ニ  
属スルモノモ亦同シ

第二十條

既ニ保險ヲ施行セシ区内ニ於テ新築スルモ  
ハ工事落成ノ上(素直ト造作トノ所有ヲ殊ニス  
ルハハ妻建落成ノ上)繪圖面ヲ添届出ツベシ  
第二十一條

凡ソ故意ニ出ツルハ否トヲ問ハズ此條例ノ成  
規ニ依リ評價...正当ヲ得ガハモノハ之レヲ不  
當トシ又保險ス可カラサルモノヲ評價シテ  
ハ同險スベキモノヲ評價セサル并ハ之レヲ共  
効トス

第二十二條

地...局ハ評價ヲ不當又ハ無効ト思ハ  
歟又...屋...主ヨリ確...具...  
但確証...モノハ書類...ハ口述タルヲ

得ハレ 雖之ヲ採用スルハ否トハ保險局

意

第二十一條

不當トレ再評價ヲ告訴ルルハ後令石

証 具ス下雖其高低ノ差保險金ノ凡ソ一割

以上ニ出ツルト認ムルモノニ限り許可スベレ

元 方保險局台ヲ再評價ヲ命スルルモ亦此判

限ニ據ルベシ

第二十四條

家屋所有主ハ評價ノ不當又ハ無効ヲ告訴スル

後其判決ニ不服ナルルハ地方保險局ノ添書

ヲ直ニ之ト共保險局ニ控訴スルヲ得ベシ

但控訴期限ハ判決ノ日ヨリ六十日間トス

第二十五條

凡テ告訴又ハ控訴ニ係ル費用ハ如レ判決ニ因

テ立テサルルハ家屋所有主ヨリ支辨スル

第二十六條

家屋一トシテハ一年ハニ期

ヲ改正スルモノトス然レモ若シ中央保險局ニ

於此意見ニルルハ此期限内ト法律一定ノ地方

第二

家屋保險

第二十七條

市街村落ノ別ナク其全部一部ニ限ラヌ或ハ兩  
箇ハ數箇ノ部落相接近シ其間一丁以上ノ空  
地ヲ以テ隔絶セサルモノハ之ヲ合シ隔絶スル  
モノハ之ヲ分テ一ノ保險區トシ其人口(本籍寄  
留ノ別ナク)ニ從テ保險賦金表ニ照準シ相當ノ

等級ヲ定ムバシ

同三方ハ空地一丁以上ニシテ一方ハ之ニ充  
サルモ實際少災延焼ノ患ナレト認めル部落  
一ノ保險區トナシ本條ノ成規ニ從フ可

第二十八條

第二十七條ニ謂ヘル部落ノ距離ハ特ニ東京保

險限リ之レヲ二町余ト定

第二十九條

四方ノ空地假令ニ成見  
離ニシテ陸ヲ一  
保險區タリヲ認メテモ其周圍山川湖森堤塘等

ニ因テ自、延焼ノ危害少ナキ郡落ハ保險等級  
一、等ヲ下スルコトナレ  
但如斯キ島嶼ノ人口ハ、本區ノ人口中  
引去ルヲ得ス

第三十條

保險ヲ施行スルニ先チ地方保險局ハ郡區ノ大  
小應レ凡保險成就ノ年限ヲ料リ若干ノ施行  
區ニ分割ス可シ  
施行區已ニ定マレノ后ハ年々抽籤ヲ以テ順次  
ニ保險スルモノトス

但抽籤ノ方法ハ別ニ之ヲ定ム

第三十一條

家屋所有主ハ其評價額十分ノ八ヲ以テ保險ヲ  
受ヘキモノトス  
然レモ人口四万以上ノ地方ニ於テ火災危險ノ  
度第六級ニ屬スル各家屋所有主ハ人口二万  
乃至四万ノ地方ニ於テ第六乃至第五級ニ屬ス  
ル各家屋所有主及人口二千五百乃至二千  
地方ニ於テ第五乃至第四級ニ屬スル各家屋所  
有主人口二千五百以下ノ地方ニ於テ第六乃至

第一級ニ属スル各家屋所有主ハ其望ニ随テ評  
價額十分ノ五、六、七、或ハ八ノ以テ保險ヲ受ルニ  
得ベシ

但數個ノ家屋ヲ所有スル者ハ家屋毎ニ各異  
ナル割合ヲ以テ保險ヲ受ルモ随意タルベシ

第三十二條

各家屋所有主ハ評價ヲ終リタル後一週間内ニ  
地方保險局ニ且保險ヲ受ケント欲スル割合ヲ  
申出ツベシ若シ期限ヲ超テ猶申出ザルモノハ  
十分ノ八ヲ以テ保險スベシ

但一度望ニ由テ確定シタル保險ノ割合ハ  
其保險年度(十年)内ニ於テ復變更スルヲ許サ  
ス

第三十三條

地方保險局ハ保險金額確定ノ後ハ各家屋所有  
主ニ家巻ヲ交附スルモノトス

但評價規則第七條及ニ此條例第十三條ニ從  
ヒ一家屋中數多ノ所有主アリテ番号及ニ評  
價モ各別箇ニスベキモノハ別家巻ヲ交附  
スベシ

第二十四條

既保險受タル家屋ニシテ其全部及ヒ一部(素建造作ノ別ナク)ヲ自ラノ随意又ハ不時ノ災害若クハ自然ノ損傷ニ因ルニ拘ハラズ改築修繕模様替スルモノハ左ノ(甲)(乙)(丙)ノ三項ニ據テ慶分スベシ

(ア) 改築修繕模様替ノ為メ(素建造作トモ)全屋ノ五分八分以上ハ迄ヲ毀損スルモノハ五分八分以上ヲ毀損スルモノハ全部ノ保險ヲ解除スルモノトス

(乙) 保險ノ解除ハ全屋ニ係ル片ハ家券ヲ收

取レ部分(五分以上)ニ係ル片ハ家券へ其減額金高ヲ記入シ可シ

(丙) 以上ノ定規ニ從ヒ保險ノ解除ハ全屋ニシテ家券收取ノ日部分ナレハ家券裏書ニ上所有主落手ノ時ヨリ實行スルモノトス

第二十五條

不時ノ災害ノ罹リ破壊ニ若クハ自然ニ廢棄シタルモノニシテ其儘棄置分又ハ随意ニ毀解シ

タルモノ其全部又ハ一部(ハ通リヲ論ヤス)ノ  
保險ヲ解任スルモノトス

但一少部分ニ止リ使用ニ差支ナク其坪數ヲ  
減縮セサルモノハ此限ニアラス

### 第三十六條

毀解改築修繕模様替ハ始終ノ期日ヲ其工事着  
手ノ前日迄ニ着シ工事始終ノ期日相違スルキ  
ハ其事由ヲ擧テ再ヒ届出ツベシ破壊廢棄ハ其  
状況ヲ三日間内ニ届出ツベシ

### 第四章

### 賦金徴收

### 第三十七條

保險賦金ノ割金ヲ定ムルカ為メ保險員人トシ  
多寡及ヒ各家屋建造ノ性質ニ從テ左ノ等級ヲ  
分ツ

保 險 賦 金 表

第十等	第九等	第八等	第七等	第六等	第五等	第四等	第三等	第二等	第一等	保險 家 屋
全貳千五百人ニテ	全貳千ニテ	全壹千八百人ニテ	全貳千人ニテ	全四千人ニテ	全八千人ニテ	全六千人ニテ	全三拾三千人ニテ	全六拾四千人ニテ	全六拾万人ニテ	
〇 一六〇	〇 二二〇	〇 四八〇	〇 六四〇	〇 八〇〇	〇 九六〇	一 一三〇	一 一八〇	一 二四〇	一 三〇〇	第 一 級
〇 一〇〇	〇 一八〇	〇 四二〇	〇 五六〇	〇 七〇〇	〇 八四〇	〇 九八〇	一 一三〇	一 一八〇	一 二四〇	第 二 級
〇 一〇〇	〇 二〇〇	〇 三六〇	〇 四八〇	〇 六〇〇	〇 七二〇	〇 八四〇	〇 九六〇	〇 一〇八〇	一 二〇〇	第 三 級
〇 一〇〇	〇 二〇〇	〇 三〇〇	〇 四〇〇	〇 五〇〇	〇 六〇〇	〇 七〇〇	〇 八〇〇	〇 九〇〇	一 〇〇〇	第 四 級
〇 一〇〇	〇 一五〇	〇 二四〇	〇 三二〇	〇 四〇〇	〇 四八〇	〇 五六〇	〇 六四〇	〇 七二〇	〇 八〇〇	第 五 級
〇 一〇〇	〇 一〇〇	〇 一八〇	〇 二四〇	〇 三〇〇	〇 三六〇	〇 四二〇	〇 四八〇	〇 五四〇	〇 六〇〇	第 六 級

九  
補  
審



家屋等級表

瓦 或 金屬葺	葺 板 或 樹皮葺	葺	屋 根 周圍ノ壁
第一級	第二級	第一級	上等塗屋造其 他尋常諸壁
第二級	第三級	第二級	上等塗屋造
第三級	第四級	第三級	石煉瓦及土造
第四級	第五級	第四級	
第五級	第六級	第五級	

家屋等級表ノ大凡ノ度ニ隨テ如ク區別ス

第三十八條

凡ハ屋根又ハ周壁ハ二種及ヒ三種ノ混淆ニナ  
ルル其種中最危ノ等級ニ屬スルニ壁ハ屋  
根ノ一部ハ瓦ニシテ一部ハ板ナレハ板屋根ニ  
シ又ハ周壁ノ一部ハ煉瓦ニシテ一部ハ板ナル  
ハ板壁ニ屬スル等ノ如シ  
但庇又ハ雪隠ノ屋根及ヒ周壁ハ縱令本家ノ  
其種ニ異ナストモ和テ混淆ト視做サズル  
ル等ニシテ  
然レモ一家屋中第六級及ニ第五級ニ屬スル部

減テリテ他 部域ト家根又ハ周壁ヲ密接スル  
モ、并造 災 延焼 ヲ防クニ足ルモ、ハ此清  
定カ  
第三十九條

險 賦金 外手数料トシテ左ノ割合ヲ以テ年  
々及 臨時ニ徴收スベシ  
保險手数料

右ハ 歳入出 算表ニ従テ年々徴收スルモノ  
ス

三十七

評價手数料

右 評價 臨時ニ徴收スルモノトス  
但火災ニ罹ル 評價ハ此限ニテラ

家券用紙代  
右ハ 交付及書替ノ 節徴收スルモノトス

第四十條

地方保 賦金ノ割合ヲ不富ト認ムル  
規 一 規

第四十一條

却テ不當又、無ニ目キ賦金ヲ増減若クハ免

ハキ判言又、控訴スル  
タル月ヨリ改正スルモノトス

第四十二條

險賦、徵收ハ年々西度ト定メ七月又ヒ一

月ニ於テ六ヶ月分ノ全額ヲ前納セシム

但新ニ保險ノ受ク一家屋(増築)ハ六月ヨリ

見金ヲ細シムベシ

第四十三條

二十九

凡テ部一部ヲ論セズ保險ヲ解除スルキハ其

半年交分ニ屬ル賦金ハ之ヲ還償シ故ニ改

築、修繕、模様替等ノ同テ年度内ニ於テ再ヒ保險

ヲ受クルニ至ルモノハ次ノ半年度ヨリ始テ評

現頭ニ於テ賦金ヲ増減シ又ハ次ノ半年度若

クハ其後ニ至リ保險ヲ受クルモノハ其月ヨリ

賦金減スルモノトス

四十四

價ニリ家ニ保險ニ

チ上スル所ノ再收スヘキ賦金ハ次ノ半年度

大歳省

ヨリ改正ス  
トス

四  
五

同  
先取権ヲナス

代限リ、慶分ヲ受クルハ他

先ツテ收取スルヲ得可レ

並ニ下六條

賦金、上納期月三十一日迄、郡區役所ニ納付

ス可シ、若シ滞延スルハ租税未納慶分規則ニ

依クモノトス

第四十七條

保 賦金ハ十年毎ニ前十年ノ焼亡平均高ヲ集

メテ改正ス

第五章

罹災評復及ヒ保險金下附

第四十八條

保險ヲ受ケタル家屋火災ニ罹ルハ其地方保

險局ニ燒失ノ屋敷、保險金額ヲ算筆シ

保險局ニ上申ス

第四

地方保險局ノ價規、第七條乃至三十條ノ

焼則ニ後トスニ任ノ焼損高ヲ評價スベシ

四五

証書ヲ作り監督人及

ハトリ 名調印シテ評價規則第二十九条

於テ差出スベキ書類ニ添テ保険局ニ進達ス

第五十一條

焼失後二週以內ニ於テ全焼ナレバ保險金五分

半焼ナルニ其焼損高ニ對スル金額五分

ノ別紙雛形ノ証書ヲ添ヘ下渡スヘシ

第五十二條

焼失後同保險局内ニ於テ再ニ築造(木造)下等塗

屋ハ二ヶ年以内ニ与煉瓦造、石造、土造、一等塗屋

ハ三ヶ年以内ニシテ保險ノ受クルモノハ其種類性

新築ヲ殊ナルヲ問ハス左ノ(甲)(乙)(丙)(丁)(戊)

制規ニ從ヒ評價額ニ應ヒテ保險金下附残高(五

分)ノニシテルマデノ金額ヲ請求スルヲ得ベシ

尚テ保險ヲ受ケサルモノ

局

但半焼ハハチ地内ニ修築スル者ニ限り保險

大歳省

金下附残

請求スルノ確アリ尤モ舊番地

儘股合セテ如クモテ

請求ノ推アルベシ

(甲)

一棟敷ヲ異ニセテ再築スルモ

(乙)

一付ノ番地内ニ於テ一棟ノ舊屋ヲ敷棟

ニ分築シ又ハ敷棟ノ舊屋ヲ一棟ニ集築

スルモノ

敷棟ノ内ノ舊屋ヲ一個ノ番地内ニ集

築スルモノ

一

一棟ノ舊屋ヲ敷個ノ番地内ニ分築スル

片ノ有主ノ好ニ應レテ其内ノ一個

番地ヲ取ル

(戊)

一棟ニシテ敷個ノ番地ニ跨ル家屋ハ一

個ノ番地ニ造営シタルモノト視做ス

第 三條

價ニ當又ハ無切ト現做レ

ヲ 求

ニ 照 斗 慶 分 ス ル モ ノ ト

方至第二十

成 分 = 照 斗 慶 分 ス ル モ ノ ト

有主其失火、原因ニ涉リ

裁判

故造若クハ不應為ノ宣告ヲ受ケル

ハ保險金要求ノ権理ヲ失フモノトス

但一保險金ヲ下附スルモ後日本文ノ宣告

ヲ受ケタルハ右下附セシ保險金ハ直ニ追

徴スルモノトス

